



第 4 号
 発行 福島県立ふたば未来学園高等学校
 保護者と教師の会
 所在地 〒979-0403
 福島県双葉郡広野町大字下浅見川
 字築地12
 編集 PTA副会長福委員会
 印刷 八幡印刷株式会社



第2回「双来祭」開催!!

個性あふれる生徒たちの元気な様子や特色ある本校の学びを地域の人たちに伝えることができました。詳しくは、四五ページをご覧ください。



が、今回は三島長校舎・猪苗代校舎も一緒にになり、生徒主導で行われた最初の公開文化祭となりました。晴天に恵まれた秋の一日、大勢のお客様を迎え開催されました。



第二回目となる本校の文化祭「双来祭」が、十月三十日に行われました。昨年の学習成果発表会「四つ力」も盛況でした。

部二年目にして東京公演を実現しました。チケットが即完売するという事態に、本校に対する関心の高さがうかがえました。公演は、二月四・五日の二日間行われ、多くの皆さんに観ていただきました。二三ステージは、各部活動の活躍の記録を掲載します。



本校部活動 大活躍!!

猪苗代校舎のバドミントン部が、一月に行われた全国高校選抜大会東北地区予選会において、全種目制覇という快挙を成し遂げました。男女団体、ダブルス、シングルの六冠は、県勢初となります。三月の全国大会でも活躍を期待しています。



FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI ★ FUTABA MIRAI



校長挨拶

校長 丹野 純一

昨年末、学校に大きな荷物が届けられました。中身は、手縫いの布袋と、その中に入れられた手作りのクリスマスカード、一五二人分です。送り主は、横浜の安田さんという方でした。手紙が添えられていて、七月より裁断を始め、昨日カードができあがったこと、色や柄、小物が一つ一つ異なり、同じものは一つもないことが書かれていて、最後に「カードに書いた「夢」という言葉、私の好きな言葉です。皆様どうぞご自身の夢を描き、色を塗り、想像を広げてください。ね」とありました。その手紙には、「一人一人の違いを大切に自分の夢を描いてほしい」という想いがあふれていました。「この方は、どんな状況にあっても夢を持ち、それを持つだけではなく、描いてほしい。描けば、一歩踏み出せる。」とせられるのではなく、自分が何をやりたのか、想いを持ってほしい」と書いてほしい」といふ思いで七月以降毎日描っていたとのこと。このような方はもとより保護者の皆様への期待と心配を背に、一期生はいよいよ進路決定の年度を迎え、あと半年が正念場となります。二期生は後輩を迎え中堅学年としての自覚と行動が求められます。それぞれ夢に向かって一歩を踏み出す春はすぐそこまで来ています。

追記
先日、二期生の分の袋も送っていたたきました。

ふたば未来学園高校部活動

輝ける軌跡

バドミントン部

国民体育大会で優勝！

〔第71回国民体育大会10/21〜10/5〕

- 少年男子 優勝 金子真大
- 少年女子 優勝 久保田友之祐
- 優勝 高橋明日香



全国高等学校選抜大会東北地区予選会では、福島県勢では初となる「6冠」を達成！

〔第45回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会1/19〜1/22〕

- 男子団体 優勝
- 男子シングルス 優勝 金子真大
- 第2位 久保田友之祐
- 男子ダブルス 優勝 金子真大
- 第2位 久保田友之祐
- 久保田友之祐
- 山田 尚輝
- 山田 尚輝
- 筑後 恵太
- 女子団体 優勝
- 女子シングルス 優勝 高橋明日香
- 第2位 永井 滯葵
- 女子ダブルス 優勝 高橋明日香
- 第2位 永井 滯葵
- 〔第35回全日本ジュニア選手権大会9/16〜9/19〕
- 男子シングルス 第3位 金子真大
- ベスト8 久保田友之祐
- 優勝 金子真大
- 久保田友之祐
- 山田 尚輝
- 筑後 恵太



- 女子シングルス 優勝 高橋明日香
- 第3位 水井ひらり
- ベスト16 永井 滯葵
- 女子ダブルス 優勝 永井 滯葵
- 第3位 永井 滯葵
- 〔第53回福島県高等学校新人体育大会11/23〜11/26〕
- 男子団体 優勝
- 男子シングルス 優勝 久保田友之祐
- 第2位 金子真大
- 第3位 山田 尚輝
- ベスト8 高上 颯龍
- 男子ダブルス 優勝 金子真大
- 第2位 山田 尚輝
- 第3位 高上 颯龍
- ベスト8 松岡 聖和
- 女子団体 優勝
- 女子シングルス 優勝 水井ひらり
- 第3位 佐藤 杏
- 女子ダブルス 優勝 永井 滯葵
- 第3位 福本真恵七

- 女子シングルス 優勝 佐藤 杏
- 第3位 松岡 聖和
- 女子ダブルス 優勝 福本真恵七
- 第3位 福本真恵七
- 〔世界ジュニアバドミントン選手権201611/21〜11/13 スペイン・ビルバオ市〕
- 国別対抗戦 第3位
- 参加選手 金子真大
- 久保田友之祐
- 高橋明日香
- 男子ダブルス 3回戦敗退 金子真大
- 女子シングルス 久保田友之祐
- 4回戦敗退 高橋明日香
- 混合ダブルス 金子真大
- ベスト16 金子真大
- 4回戦敗退 久保田友之祐
- 川島 美南
- 川島 美南
- 〔韓国マスターズ12/6〜12/11 韓国・済州島〕
- 女子シングルス 2回戦敗退 高橋明日香

2809 由良なぎさ

1年間を振り返ってみると、楽しいイベントの多い年だったと思います。修学旅行や文化祭などといった、本校舎や三島長隆校舎の人達と会う機会も去年より多く、特に文化祭は、皆で力を合わせて成功させることができたものだと思います。

来年は、高校生活最後の年になるので、インターハイ全種目制覇を成し遂げ、顔面も真面目に取り組んでいきたいです。最高の思い出をたくさん作りたいと思います。

- 〔第70回全日本総合バドミントン選手権大会11/28〜12/4〕
- 男子シングルス 2回戦敗退 金子真大
- 男子ダブルス 1回戦敗退 金子真大
- 久保田友之祐
- 女子シングルス 優勝 山田 尚輝
- 第3位 山田 尚輝
- 女子ダブルス 1回戦敗退 高橋明日香
- 1回戦敗退 永井 滯葵
- 〔2016福島県総合バドミントン選手権大会12/10〜12/11〕
- 男子シングルス 優勝 松岡 聖和
- ベスト8 高上 颯龍
- 男子ダブルス 優勝 松岡 聖和
- ベスト8 高上 颯龍
- 女子シングルス 優勝 佐藤 杏
- 第2位 佐藤 杏
- 第3位 松岡 聖和
- ベスト8 宮 澤里
- 女子ダブルス 優勝 佐藤 杏
- 第3位 松岡 聖和
- 〔世界ジュニアバドミントン選手権201611/21〜11/13 スペイン・ビルバオ市〕
- 国別対抗戦 第3位
- 参加選手 金子真大
- 久保田友之祐
- 高橋明日香
- 男子ダブルス 3回戦敗退 金子真大
- 女子シングルス 久保田友之祐
- 4回戦敗退 高橋明日香
- 混合ダブルス 金子真大
- ベスト16 金子真大
- 4回戦敗退 久保田友之祐
- 川島 美南
- 川島 美南
- 〔韓国マスターズ12/6〜12/11 韓国・済州島〕
- 女子シングルス 2回戦敗退 高橋明日香



女子バレーボール部

試合を行うたびに奮闘に感謝し、昨年は県大会への出場も果たしました。

〔福島県高等学校新人体育大会相双地区大会〕 第3位 出場

〔福島県高等学校新人体育大会〕 第3位 出場



レスリング部

〔全日本ジュニア選手権大会東北ブロック予選会〕

- カテットの部75kg級 5回 拓海 第3位 全国大会出場
- カテットの部85kg級 5回 拓海 第5位 全国大会出場
- 〔高松宮杯東北高等学校選抜レスリング選手権大会〕
- 男子65kg級 近野雄一郎 第3位 全国大会出場
- 男子74kg級 小松 拓海 出場
- 男子84kg級 小松 拓海 出場

〔全日本ジュニア選手権大会東北ブロック予選会〕

- カテットの部75kg級 5回 拓海 第3位 全国大会出場
- カテットの部85kg級 5回 拓海 第5位 全国大会出場
- 〔高松宮杯東北高等学校選抜レスリング選手権大会〕
- 男子65kg級 近野雄一郎 第3位 全国大会出場
- 男子74kg級 小松 拓海 出場
- 男子84kg級 小松 拓海 出場



男子サッカー部



福岡県高等学校新人体育大会ベスト4
 福岡県高等学校新人体育大会相対地区大会
 優勝
 福岡県高等学校新人体育大会
 ベスト4
 ふたば未来 4-0 美
 ふたば未来 3-2 平工業
 ふたば未来 1-2 聖光学院
 (U-18福岡県サッカーリーグ2016 (Fリーグ
 相対地区リーグ)
 優勝 来年度よりFリーグへと昇格



女子サッカー部



福岡県校との合同チームでの結果
 (女子サッカー選手権福岡県大会)
 準優勝
 (女子サッカー選手権東北地域大会)
 高岡・ふたば未来 2-4 千葉学園 (両勝)
 (2016年度福岡県女子サッカーリーグ)
 県3位
 新チームの活動
 (福岡県高等学校新人体育大会)
 出場 (平工業・福岡高専との合同チーム)

「福岡・ふたば未来」女子サッカー部 遠藤 諒夏

二年間先輩方と一緒にサッカーをしてきて、サッカーのことは勿論、日常生活のことに関しても成長することができました。合同チームとして、先輩方の背中を見てすごしてきましたが、次は自分達がその意志を受け継ぎ、残していく立場です。福岡高校とサッカーや生活を一緒にしてきたということ、またそれぞれの世代についていくということを誇りに思い、ふたば未来としてしっかりと活動していきたいです。

ソフトテニス部



男女ともに体力と試合経験が向上し、個人・団体
 で県大会出場を達成しました。
 (福岡県高等学校新人体育大会相対地区大会)
 ●団体戦女子
 ●ダブルス (男子)
 ●ダブルス (女子)
 ●アンダーソフトテニス大会相対地区大会
 ●ダブルス (男子) 加藤・田熊 県大会出場



陸上競技部



短距離・長距離ともに部員も増え、各種競技で上位入賞を果たしています。
 (福岡県高等学校新人体育大会相対地区大会)
 ●男子100m 根本 翔 第2位
 ●男子3000m S C 遠藤 健次 第2位
 三瓶 碧哉 第3位
 ●男子4x400mリレー 三瓶碧・根本・三瓶 第3位
 ●女子4x100mリレー 鈴木・根本結・根本聖・渡部 第3位
 ●女子走幅跳 鈴木 迅砂 第2位
 ●女子二段跳 鈴木 迅砂 第2位
 ●福岡県高等学校駅伝競走大会 鈴木 迅砂 第33位



演劇部



部員も増えて、ますますパワーアップした演劇部。
 2月には東京公演も果たしました。
 ●大会
 ●相対地区高等学校演劇コンクール 優勝賞受賞
 (福岡県高等学校演劇コンクール) 優秀賞
 ●公演
 (広野町生涯学習発表会) 出演
 (NPO法人高岡町3・11を語る会)
 (ふたば未来学園高校演劇部 東京公演) 出演
 (ふたば未来学園高校演劇部 オス小劇場にて、いわき公演を行います。)



吹奏楽部



ニューヨークをはじめ各地での公演に参加し、すばらしい音楽を届けてきました。
 (2016 TOMODACHI サントリー福岡未来ミュージックプログラム)
 (ニューヨーク研修
 福岡県吹奏楽コンテスト福岡県大会) 参加
 (第17回相対バンドフェスティバル) 参加
 (相対地区高等学校後期音楽学術発表会) 参加
 (アンサンブルコンテスト相対支部大会) 参加



美術部



日頃の活動で、多くの作品を制作し、文化祭では作品の展示発表を行いました。
 (学校法人美智学園専門学校日本デザイナー芸術学園仙台校主催 高校生グランプリ2016) 参加
 (第35回福岡県高等学校総合文化祭美術工芸部門) 参加
 (第42回福岡県高等学校美術展) 出品
 (平成28年度広野町文化展) 出品



野球部



新3年生にとっては最後の秋。今年の秋が勝負です。
 (福岡県高等学校新人野球大会相対支部予選) 出場
 (秋季相対地区選手権大会) 出場



剣道部



日々訓練を重ね、実力をつけてきました。心身ともに充実しています。
 (福岡県高等学校新人体育大会相対地区大会)
 ●男子個人 太田 湧輔 第3位
 ●女子個人 坂本 瑞奈 第3位
 (福岡県高等学校相対地区選手権大会)
 ●女子個人 坂本 瑞奈 優勝



卓球部



団体戦へも出場できる人数となり、切磋琢磨しながら日々練習に励んでいます。
 (福岡県高等学校新人体育大会相対地区大会)
 ●男子団体戦 第3位 県大会出場
 ●男子シングルス 土屋 昌 県大会出場
 ●男子ダブルス 土屋・石田 県大会出場



社会起業部



福岡県の復興のために、地域社会へのアプローチを続けています。
 (広野町国際フォーラム) 発表
 本校文化祭では、活動内容の展示を行いました。



JFAアカデミー福島 男子

プリンスリーグ東海で優勝!

プリンスリーグ東海において、12勝1敗5分で優勝し、プレミアリーグ昇入戦に出場しました。
《高田宮杯U-18サッカーリーグ2016》プリンスリーグ東海

- JFAアカデミー福島 1-0 東邦
- JFAアカデミー福島 2-0 藤村誠誠
- JFAアカデミー福島 7-1 四日市中央工業
- JFAアカデミー福島 2-2 中央大学附属中央
- JFAアカデミー福島 2-0 東海学園
- JFAアカデミー福島 2-1 浜松開誠館
- JFAアカデミー福島 1-1 清水板が丘
- JFAアカデミー福島 1-0 ジュビロ磐田U-18
- JFAアカデミー福島 7-1 静岡学園
- JFAアカデミー福島 5-1 東邦
- JFAアカデミー福島 3-1 藤村誠誠
- JFAアカデミー福島 6-1 四日市中央工業
- JFAアカデミー福島 3-2 中央大学附属中央
- JFAアカデミー福島 2-1 東海学園
- JFAアカデミー福島 0-0 浜松開誠館
- JFAアカデミー福島 1-1 清水板が丘
- JFAアカデミー福島 1-1 ジュビロ磐田U-18
- JFAアカデミー福島 2-0 静岡学園
- JFAアカデミー福島 1-3 アビスパ福岡U-18

《高田宮杯U-18サッカーリーグ2016》静岡・スルガカップBリーグ
☆Bリーグ 第5位

- U-18クラブチームの頂点を決める大会でベスト8
- 《第40回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会》
- ☆ベスト8
- グループステージ(グループB)
- JFAアカデミー福島 3-0 カターレ富山
- JFAアカデミー福島 4-0 塩釜FC
- JFAアカデミー福島 0-4 横浜F・マリノス
- ノックアウトステージ
- JFAアカデミー福島 2-0 コンサドレ札幌U-18
- JFAアカデミー福島 2-1 ヴァンセレル神戸U-18
- JFAアカデミー福島 2-1-3 ヴァンセレル神戸U-18

2016 山崎 博音
男子は、クラブユースベスト8、プリンスリーグ東海優勝した。クラブユースは早々決勝のヴァンセレル神戸戦に2対3で敗れました。山崎は負しましたが悔しい気持ちがありました。プリンスリーグは1位でプレミア昇入戦に臨みましたが、1回戦のアビスパ福岡戦に2対3で敗れ、目標のプレミア昇格は叶いませんでした。来年度も目標達成に向けて頑張ります。



男子チャレンジチーム SECONDRIDGE

《第8回ジャパンユースフットボールリーグ》☆SECONDRIDGE Aグループを首位で通過し、優勝



JFAアカデミー福島 女子

プリンスチャレンジリーグWEST第3位・EAS Tを交えた順位決定戦の結果、全体で第6位

- 《プリンスチャレンジリーグWEST》
- JFAアカデミー福島 3-1 新潟医療福祉大学
- JFAアカデミー福島 0-2 静岡医療専門学校
- JFAアカデミー福島 1-0 パナース京都SC
- JFAアカデミー福島 1-0 NPO法人FCトリス
- JFAアカデミー福島 1-3 パナース京都SC
- JFAアカデミー福島 2-3 FC東京FC
- JFAアカデミー福島 2-1 静岡医療福祉大学
- JFAアカデミー福島 0-3 新潟医療福祉大学
- JFAアカデミー福島 1-1 新潟医療福祉大学
- JFAアカデミー福島 1-2 新潟医療福祉大学
- JFAアカデミー福島 2-0 静岡医療専門学校
- JFAアカデミー福島 2-0 静岡医療専門学校
- JFAアカデミー福島 2-0 静岡医療専門学校
- JFAアカデミー福島 2-1 パナース京都SC
- JFAアカデミー福島 1-2 NPO法人FCトリス
- JFAアカデミー福島 6-1 福岡J・アンクルラス
- 《フレナスチャレンジリーグ順位決定戦》
- JFAアカデミー福島 4-1 筑波大学附属高校
- JFAアカデミー福島 1-0 福岡J・アンクルラス
- JFAアカデミー福島 1-3 ノルアシア北海道

- 第39回全日本女子サッカー選手権大会
- 東海地区大会(10/8)
- JFAアカデミー福島 2-0 聖カトリック女子高
- 全国大会(10/22-29)
- JFAアカデミー福島 8-1 四国学院大学
- JFAアカデミー福島 0-4 ジェフ千葉ビワース

- 第71回国民体育大会(2016)6年層帯いわて国体
- 国民体育大会 静岡選抜ベスト8
- 第71回国民体育大会(2016)6年層帯いわて国体
- 静岡選抜 2-1-1 高城選抜
- 静岡選抜 0-1-1 新潟選抜

日本女子代表で活躍 女子はW杯(U-17)準優勝!

《C.A. International Women's Youth Football Tournament 2016 Welting 7/12-16 中国》

- ☆準優勝 U-17日本女子代表 遠藤 純・高早 美穂
- 第1位 日本 3-1-1 カナダ
- 第2位 日本 0-1-1 中国
- 第3位 日本 5-1-1 ニュージーランド
- 《FIFA U-17女子ワールドカップ2016》モルダニア 9/30-10/21
- ☆準優勝 U-17日本女子代表 遠藤 純・高早 美穂
- グループステージ(グループD)
- 第1位 日本 5-0 ガーナ
- 第2位 日本 5-0 パラグアイ
- 第3位 日本 3-2 アメリカ
- ノックアウトステージ
- 1回戦 日本 3-0 イングランド
- 準決勝 日本 3-0 スペイン
- 決勝 日本 0-0 北朝鮮 (PK 4-5)

男子代表は来年度のW杯出場権獲得!

《第13回アテネナツイオーニートーナメント4/24-5/1 オーストラリア・イタリア》

- ☆準優勝 U-15日本代表 瀧田 義成
- 第1位 日本 4-3 ノルウェー
- 第2位 日本 2-1-1 メキシコ
- 第3位 日本 6-2 オーストラリア
- 準決勝 日本 2-2 ロシア (PK 5-4)
- 決勝 日本 1-2 スペイン
- 《International Youth Four Countries Football Tournament in 10/14 中国》
- ☆優勝 U-16日本代表 瀧田 義成
- 第1位 日本 3-1 ウズベキスタン
- 第2位 日本 5-1 中国
- 第3位 日本 4-1-1 イラン
- 《インターナショナルドリームカップ2016》JAPAN Presented by JFA 6/22-26 鳥取市
- ☆準優勝 U-16日本代表 瀧田 義成
- 第1位 日本 4-1-1 ハンガリー
- 第2位 日本 1-2 マリ
- 第3位 日本 6-0 メキシコ
- 《AFC U-16選手権インド2016》9/15-10/2 インド
- ☆ベスト4 U-16日本代表
- 南木 心・菊地 健太・瀧田 義成
- グループステージ(グループB)
- 第1位 日本 7-0 ベトナム
- 第2位 日本 8-0 キルギス
- 第3位 日本 6-0 オーストラリア
- ノックアウトステージ
- 1回戦 日本 1-0 UAE
- 準決勝 日本 2-4 イラク

三島長陵校舎 学校行事



秋本先生講演講習会 2/27



JICA講演 10/25



長陵祭 11/12



秋本真吾先生ランニングコーチとしてご活躍中! お昼も一緒に食べました!



エニアグラム 1/25 2/8



お昼ご飯を一緒に食べました!



2年1組 秋澤新平

「バケもんGo!!」当日はハロウィンだったので、仮装したバケもんを見つけるスタンプラリーを企画した。親子が多く参加してくれた。お客さんも自分たちも楽しめたので良かった。

2年1組 秋澤新平

「どうしたんだアリス」普通のお化け屋敷ではなくアリスの世界をホラーにリメイクした。衣装や内装をどうするかなかなか決まらず決まったのは3日前だった。全員がこの企画に関わって良かった。楽しかったといってくれたお客さんもちょうど楽しかった。

文化祭

生が集まれば〜



2年2組 吉中真由子

「学級閉鎖」生徒が亡くなっていく呪いを止めるためにお客さんに花を供えてもらうというお化け屋敷。なかなかまとまらず、不安だった。やる気の無い人に怒ってばかりいたが、みんながどんどん積極的に参加してくれる過程を見ることができ嬉しかった。設定がしっかりしていたので、より怖く、楽しんでもらえた。

2年2組 遠藤結華

「Horror of hospital (恐怖の病院)」廃病院が舞台のお化け屋敷。音響担当が力を入れた音声と映像は自分たちも怖がるほどのリアルだった。お互い助け合って作業に取り組んだ。お客さんの多くが驚いてくれて達成感があった。



小さな色紙を
はって集めると

Diversity



リーダーの役割を担い、悩み大変な思いをした。企画の段階で意見が生まれ、正直に伝えるイメージがあった。しかし、考えを投げ出さず、少しづつ具体的にしていこうと思えるようになった。全校制作していたのですが、地道な作業も協力し進められた気がした。校舎内と外でやる結果になりました。文化祭が終わらせることが出

2年1組 秋澤新平

「Bar ナナ」スライドショーを流しながら飲食物の販売をした。最後にはクラスの協力を生かして、売上げも良かった。席や品数がもう少し欲しいと言われたが、雰囲気や納のサービスが良かったとほめられた。来てくれた方々ありがとうございました。

2年2組 吉中真由子

「絶対に笑ってはいけない1年2組」TVの「ガキ使」のパロディ。全力でお客さんを笑わせ、お客さんは全力で我慢するという企画。どこもかぶらないことをしたかった。マニュアルを考えることや教室の装飾が大変だった。思ったより多くのお客さんが来てくれて、ずっと忙しかったけれど、たくさん笑顔が見られて良かった。ありがとうございました。

2年1組 秋澤新平

「ハロウィンタウン」喫茶店でコスプレをして接客した。お客さんにDVDも鑑賞してもらった。初めは協力して進められなかったり、わたあめ機が壊れるトラブルもあったりしたが、割り付けはみんな楽しんででき、初めての文化祭をやり遂げられた。この反省を活かして次はもっと良いものになりたい。ありがとうございました。

2年2組 遠藤結華

「さがせオレ達の宝&俺達のたい焼き」アイデアがまとまらずなかなか決まらなかった。校舎内と外でやったのは4組だけだったのでアピールできた。最後にはクラスの仲が深まり一人一人も成長できたと思う。



特産物の展示



29年3月 香取市立

私たち猪苗代校舎は、2学年合同で「タビオカ焼(タビオカドリングの模擬店)」と「的当てゲームと展示」を行いました。当日は、用意した200杯を全部売り切るために、全員で販売や宣伝を頑張りました。四種類用意しましたが、抹茶ミルクが一番人気でした。みんなのおかげで、無事売り切ることができました。

他のクラスの出し物を見て回ったり、いつもは会えない他校舎の友だちと交流したり、とても楽しい時間を過ごすことができました。

三島長陸の展示



29年3月 山形県

私たちは焼きそばを作りました。昨年の長陸祭で慣れていたので、同じ模擬店に決めました。2回目ということで気分十分、思い切って調理販売量を1.5倍に増やしましたが、女子が皇后杯でいなかったため、男子13人でのローテーションは難しかったです。人参が少し固かったようですが、「歯ごたえがある」と捉え、とても美味しくできました。渡せないお客様がいて残念でしたが、あっという間に180食完売できて良かったです。

双来祭

みんなの個性



パザー



慶幸のカレイドスコープ



文化祭の衣装



美術部の展示

文化祭を通して学んだことの一つ目は、いろいろな人と一つのものを作る大変さだ。双来祭のテーマが「Enjoying Diversity」(多様性を楽しもう)だったので、大変さもあったが、作り上げた喜びも感じられた。二つ目は、情報の伝え方だ。実行委員会の集まりやクラスの話し合いでも進めやすいように前もって打ち合わせることの重要性を知った。私は、心配ばかりしていたが、この体験をつぎに活かしたいと思った。双来祭を通して、人に伝えること・協力することの大変さを知ることができた。大変だったが、とても楽しい思い出になった。



演劇部の祭具



吹奏楽部の表彰



Enjoying



最初はうたが...
していま...
次々に間...
管うと成...
りません...
えること...
ずつ企画...
と、活動...
になって...
係に携...
そこで...
てコツ...
ます。...
協して...
ていた...
を成功...
来まし

保護者と教師の会 会長 ● 根本みゆき

第2回「双来祭」が、10月30日に開催されました。開校2年目を迎え、高校生らしい、ふたば未来学園高校らしい文化祭だったと感じております。昇降口のバルーンをくぐると、LEDで作成された校章にまぶす目は引かれ、各教室では子供達が様々な衣装で来場者を迎え入れる飲食ブースや、大盛況だったお化け屋敷。野外ブースでの飲食物の模擬店。農業科の飲食ブースや手作り電気自動車体験。吹奏楽や演劇部の発表等々一日たっぷり楽しめ、心もお腹も満たされつつ、子供達の満面の笑顔が来場者の心に印象深く焼き付けられました。保護者と教師の会でも「パザー」を開催するにあたり、遠方へお住まいの方も多し中、皆様からパザーへの協力があつたほか、前日の準備からお手伝いを頂くなどして盛況に開催することができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、売上は保護者と教師の会に入金させて頂き、運営費用とさせて頂きます。



学校と社会起業部の活動をポスターにまとめ紹介した。本校の活動を保護者や地域の方々を知ってもらおうと企画した。お客さんからは「よく、まとまっている」とほめられた。多くの方が興味を持ってきて活動もよくわかって貰えたと思う。

初めての

修学旅行

in 沖縄

12月6日
~9日

本校初めての修学旅行が十一月六日から九日にわたって実施されました。いつもはそれぞれで学習活動を行っている三原長陵校舎生と猪苗代校舎生も一緒に、全校生で沖縄の旅を満喫しました。

今回の修学旅行では、久米島にわたり、ホームビジットを体験しました。ホームビジットとは、島の一般家庭に赴き、島の生活や文化、自然を体験するプログラムです。グループによって様々な体験に挑戦することになりました。農作業のお手伝いや釣りに、島の戦争体験の歴史を聞いたり、お散歩したりと貴重な時間を過ごすことができました。島のみなさんありがとうございました。

四日間の日程を終えた生徒たちは、たくさん思い出を抱いてそれぞれ帰路につきました。一回り大きくなった二年生、最終学年の頑張りに期待しています。



12月6日 五日乗船
私は初めて沖縄に行った。強く印象に残った一つ目は、ホームビジット。ホームビジット先では、久米島の話を聞いたり、散歩をしたり、沖縄料理をいただいた。二つ目は摩天任の丘。そこには多くの歴史の場があり、東郷の特色を活かした石碑があった。
修学旅行を通して、地元の方々の優しさに触れることができ、歴史も学べ、有意義な時間を過ごせた。

12月7日 初島参拝
修学旅行を通して私は様々なことを学んだ。最初に訪れた平和の礎では、多くの方がよく知っていることを知り、戦争の悲惨さを強化させてはいけないと思った。ホームビジットでは、半日という短い時間の中で島の生活や文化に触れることができ、もっと過ごしたかったと思った。充実した修学旅行だった。

12月8日 久米島参拝
印象に残ったことは、久米島へのホームビジットだ。自分の父が訪れた家は大家族で、そのお父さんに島を案内してもらった。一番驚いたのは「お化け坂」という所で、本当は上り坂なのに、歩いてみると下っているという錯覚が起きる坂だった。また、方言が印象的だった。バスのガイドの方が沖縄の方が数回多く聞かれた。行く前に少し知っていたら良かったと思った。

12月9日 米井御参
一番楽しかったのは、3日目のタクシー研修だ。海沿いの景色がきれいなツミカジテラスで昼食を食べ、写真を撮りたくさん撮った。その後、琉球ガラス村に行き、コップ作りをした。ガラスに息を吹き込んで飾りまわせる作業と、コップの飲み口を丸く広げる作業が難しく、でこぼこになってしまったが、逆に手作り感のいい味が出た。最後に国際通りでお土産を買い、夕食を食べた。タクシー運転手さんに色々なことを教えてもらい、みんなで過ごしたことがとても楽しかった。

12月6日 集合研修
修学旅行では、同じ日本なのに違う国にいるような感覚になったことが印象に残っている。沖縄の街並みや沖縄の人たちの雰囲気やその感じさせたのかもしれない。白濁飲料を飲まないことをたくさん経験できた充実した四日間だった。
沖縄では、屋敷、森の上、お店の中など、どこに行ってもシーサーがいて、古風なものから現代風のかわいらしいものまで、いろいろな種類があった。シーサーに会い、また沖縄に行きたいと思った。



BELARUS

ベラルーシ研修 ▼ 8月1日～11日



8月1日から10日間の日程で、本校の1学年の生徒10名を含む、県内の中高生45名が、ベラルーシへの研修に赴きました。

この研修は、2012年度以降行われてきました。チェルノブイリ原発事故からの復興を目指す様々な



取り組みを行ってきた同国からの招待を受け、福島県の中高生が、復興に向けた具体的な対策や再生可能エネルギーについて学習することを目的としています。また、現地の学生との交流や、文化・歴史・自然を体験するということも

もうひとつの大きな目的です。ベラルーシの伝統文化であるダンスや音楽、工芸品に触れたり、漢字や折り紙、着物の着付けなど、日本の文化を紹介したりといったことも行いました。現地の学生と交流し、異文化に触れることは、生徒たちにとって良い刺激となったとともに、絆を深められた瞬間でした。

10日間の日程でしたが、そのなかで多くのことを学ぶことができました。二年生からの探究活動につながることを期待しています。

UNITED STATES OF AMERICA

2月26日から3月7日まで、2学年次未来創造探実班の代表者が、アメリカ研修へ行ってきました。編集時期の都合で内容は掲載できませんが、学校ホームページ等でその様子をご覧いただければ幸いです。

グローバルキャンプ

12月7日(水)から9日(金)まで、いわき市四倉の海浜自然の家にて、1学年次全員がJICAグローバルキャンプに参加しました。三日間にわたる研修のなかで、様々なことを学びました。今回は、その一部を紹介いたします。

世界の報道について

「メディアを批判的に見る」をテーマに、世界の報道の現状と問題点を学びました。フレームで切り取られ報道される世界と、フレームから外れ報道されることの無い世界があります。この二つの差異を通して、「真実」はどこにあるのかを見ていきました。

スポーツと健康

最貧国に住む人々の現状と、その国でのスポーツの役割について学びました。

世界には、今の日本と状況が大きく異なる国で生活する人がいます。貧しさのあまり薬物売買や窃盗に手を染めざるを得ない子どもたちや、毎日危険な長距離の通学路を歩いて学校へ通う子どもたちの姿を見て、その現状の違いに驚きました。

そのなかで、サッカーを通して友人との絆を深めたり、ルールやチームワークを学んだりしていました。そうした、異国でのスポーツの役割を学べたことは大変よい経験でした。



くりを見ました。

例えば、写真のサッカースタジアム

GERMANY

ドイツ研修 ▼ 1月7日～10日

1学年の生徒8名が、3泊4日の日程でドイツ研修へ行きました。現地では、主に再生可能エネルギーや循環型社会を学び、環境に配慮した、市民参加の街づ



ムでは、スタジアムの屋根にソーラーパネルを設置し、太陽光ですべての電力を賄っています。驚くべきは、その設置費用は、スタジアムがある町の住民やチームのサポーターが資金を出し

合せて設置したという点です。市民の環境配慮への意識が高いことがうかがえます。また、ドイツのEMGという高校を訪れ、その授業を体験しました。ドイツの生徒達は積極的に授業に取り組みます。学ぶ意欲はとても強いです。たくさん宿題が出されますが、全員が必ずやります。

滞在期間があつたという間に過ぎましたが、本校の生徒達はとても良い刺激を受けていました。

FOCUS ふたば未来 第4回

商業



商業では、簿記やマーケティングといった会計や流通に関する授業のほか、農業系列の生徒と合同で新商品を開発し、販売実習を行うなど、実践的な活動を行っています。

商業では、簿記やマーケティングといった会計や流通に関する授業のほか、農業系列の生徒と合同で新商品を開発し、販売実習を行うなど、実践的な活動を行っています。

農業



農業では、様々な活動を行っています。例えば、米作りや花壇の整備などの栽培実習や、菓子・パン製造などの食品加工を実施しました。また、外部の講師を招いて、門松制作やデコレーションケーキ製造を行いました。

特色ある授業の風景
ふたば未来学園では、様々な特色ある授業を行っています。そのなかから一部、授業の風景を紹介したいと思います。

福祉



福祉では、介護や福祉系への就職や専門学校等進学を目指す生徒が、介助などの実習に取り組む、介護の基礎的・基本的な知識・技術を学んでいます。近隣の福祉施設から外部講師を招き、実際の職場と同様の方法で介助のしかたを学ぶことができます。

工業



工業では、ものづくりを通して技術の向上をめざします。今年度は、表札づくりや溶接などを行いました。また、危険物取扱者試験に向けた学習を行い、資格取得にも力を入れていました。

双葉祭のバザーご協力のお礼

11月に開催された本校文化祭において、父母と教師の会主催のバザーを開催いたしました。その際、皆様から多数の商品のご提供をいただき、ありがとうございました。

また、準備時や当日の運営において、ご協力いただいた皆様、お忙しい中お手伝いいただき、ありがとうございました。

皆様のご協力のおかげで、バザーのほうは、大盛況のうちに終えることができました。九万七〇〇円の益金は、今後の P T A 活動に活用させていただきます。

今後とも、父母と教師の会の活動への、ご理解とご協力を賜れば幸いです。簡単ではございますが、この場をお借りして、御礼申し上げます。

総務委員会

今年度の主な活動として、双葉祭でのバザーを行いました。前述の通り、多数の商品のご提供およびバザーへのご協力、ありがとうございました。

また、当日バザーにいらっしやった方々へも感謝申し上げます。

進路対策委員会

9月9日(金)、保護者・教員13名が参加し視察研修が行われました。今年度は仙台方面の上級学校見学をテーマに、東北大学と仙



P T A 活動報告

台医療福祉専門学校を訪ねました。両校ともご担当の先生方の熱意あふれる姿と最新の施設設備が整っていることが強く印象に残りました。見学後は仙台市内の自主研修の時間も確保でき、充実した秋の一日となりました。

健全育成委員会

「県下一斉服装指導」
六月一日・十日・十三日
生徒昇降口で声かけ運動を実施

生徒の健全育成に向け、家庭においても望ましい制服着用の在り方等を考えさせる機会ととらえ、毎月十日に町長さんを先頭に地域の人たちが実施している「朝のあいさつ運動」と同じように、毎朝サツカー部がさわやかに笑顔で声をかけました。

調査広報委員会

今年度の主な活動としては、本校の P T A 会報「翔」を2回発行しました。第3号が9月30日、そして第4号にあたる本会報を、3月17日に発行しました。また、12月22日(木)、相馬高校で行われた相双地区 P T A 広報誌コンクールに参加しました。来年度もよろしくお願いたします。



ふたば未来学園高校の P T A 会報「翔」第4号の発行にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございます。生活の日常の学校生活や活動が一目でわかるように、たくさん写真や記事をとどのように表現するのかが、時に難しく、時に悩み、編集委員の熱い編集意識が毎回、学校の理科室で繰り返されております。今後、より良い広報活動ができますよう、引き続き皆様の新鋭なアイデアやご意見、ご感想を遠慮なくお寄せください。読んでいただいた皆様は笑顔になれるような広報誌づくりをめざして、委員一同、これからも精進いたします。

